

事例No.28 ウェアラブル端末による従業員の健康マネジメント

農業・林業
漁業

事業所名 企業名	中日臨海バス株式会社 公式ホームページ：www.1049.cc/web/crb				
所在地	四日市市	従業員数	350名	産業分類	道路旅客運送業

建設業

【事例の詳細】

機能	健康管理システム	使用 機器等	PC・タブレット ・ウェアラブル端末
取組 内容	<p>当社は、企業などの依頼を受けてバスによる従業員などの送迎が主要業務のひとつになっています。</p> <p>ドライバーを含む全社員に「ウェアラブル端末」を支給して睡眠時間や歩数などを把握するとともに、関西・中部・関東の各エリアに管理栄養士を採用して、6ヶ月毎の健康データを人間ドッグ学会の指定区分において分析しています。これに基づき食事改善メニューの指導や対策を行っています。</p>		  
導入 プロセス	<p>業界においては乗務員の労務管理が課題となっていました。当社でもドライバーが脳疾患を発症する事例が発生していました。社内在席中であつたとはいえ、乗務員の健康が第一と考え、日本一健康な乗務員が働く会社をテーマに健康促進に取り組んでいます。平成26年から脳ドッグ、平成27年からSAS判定、平成29年から頸動脈エコーの検査を取り入れています。</p>		
成果 効果	<p>ドライバーは、健康データが示され、具体的な改善案が提示される事で「やられる健康」から「自ら取り組める健康」に姿勢が変わってきています。会社としては、このドライバーの能動的思考が最大の狙いです。</p> <p>今後はSAS研究においてCPAP（持続陽圧呼吸）やマウスピース（SAS治療法）の取り組みなど、大学の研究チームと連携し、データの解析をしたいと考えています。また健康管理PDCA計画のもと、健康診断結果を基にリスク層（高・中・低の三層）から健康層へ近づける改善を行っていきたいと思います。</p>		

製造業

情報通信業

運輸業・郵便業

卸売業・小売業

金融業・保険業

飲食サービス業
宿泊業

生活関連サービス業・娯楽業

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	

医療・福祉

その他